

5-2

青少年の健全育成



目次

青少年育成市民会議事務	1
青少年育成友愛事業	3
市少年の船助成事業	5
学校開放「エンジョイ広場」事業	7
子ども情報紙発行事務	9
子ども会連絡協議会事業	11
成人式事業	13

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 617 事務事業名 青少年育成市民会議事務

部 教育委員会

担当部署 社会教育課社会教育係

事務区分 自治事務

根拠法令・要綱等		作成日	平成25年 7月 6日
		事業開始	昭和56年度
		事業終了	

必要度合 **市民の生命・財産・権利を擁護、不安解消**

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

--

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

市内における青少年の健全育成を図る。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	子ども、保護者		

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

- ・団体（行政区長会、校区民会議をはじめ市内の主な団体が加入）と個人会員で組織。
- ・毎年6月に総会を開催。その他理事会を随時開催
- ・友愛事業として3つのキャンプを実施（教育委員会と共催）
- ・青少年健全育成のための意見発表会（ちっこ教育の日事業）
- ・市と共催であいさつ運動を実施
- ・市補助金と県民会議活動助成金と会費で運営

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
年度別計画	計画	市民会議事務あいさつ運動意見発表会	市民会議事務あいさつ運動意見発表会	市民会議事務あいさつ運動意見発表会	市民会議事務あいさつ運動意見発表会	市民会議事務あいさつ運動意見発表会	市民会議事務あいさつ運動意見発表会	
	実績	市民会議事務あいさつ運動意見発表会 400名参加	市民会議事務あいさつ運動意見発表会 300名参加					
ア	予算額・決算額	千円	688	701	733	733	733	0
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		688	701	733	733	733	0
イ	従事者数(正規)	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	2,350	2,363	2,395	2,395	2,395	0
ク	成果指標①	人	39.00	46.00	47.00	60.00	60.00	0.00
	②	人	400.00	300.00	400.00	400.00	400.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	回	3.00	0.00	3.00	3.00	3.00	0.00
	②	日	11.00	0.00	11.00	11.00	11.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	229.3	0.0	244.3	244.3	244.3	0.0

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 2 青少年の健全育成

上位施策のねらい
青少年が健全に育成され、豊かな社会を築く一員になっている。

基本事業 家庭や地域の教育力の向上による生活基本習慣の習得

成果指標名①	単位
総会出席者数	人
計算式	

成果指標名②	単位
意見発表会出席者数	人
計算式	

成果指標名③	単位
計算式	

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位
理事会回数	回
活動指標名②	単位

あいさつ運動（重点校区）実施日数	日
活動指標名③	単位

活動指標名④	単位

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 617 事務事業名 青少年育成市民会議事務

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	・いじめや不登校、学級崩壊等深刻な事態が発生している。 ・核家族化の進行、地域社会における人間関係の希薄化により、地域社会や家庭の教育力が低下している。
--------------------------------------	---

4. 評価

ア必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	青少年の健全育成は、行政が担うべき重要な施策である。		
イ公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	市内全体の子どもと保護者を対象としている。		
ウ有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	中
	あいさつ運動や意見発表会は参加者も多く定着してきているが、他の有効な事業の検討や、非行からの立ち直り支援の検討も必要。		
エ効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	自主運営が望ましいが、市の主な団体を網羅した青少年育成組織であり、行政が関わる必要がある。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 高木正勝	イ 前回評価後の改善内容					
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況 ウ 今後の具体的な対応策、実施案
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更						
<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善						
<input type="checkbox"/> 成果減少							
次年度の投入資源 事業費 現状維持							

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 619 事務事業名 青少年育成友愛事業

部 教育委員会

担当部署 社会教育課社会教育係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 2 青少年の健全育成

上位施策のねらい
青少年が健全に育成され、豊かな社会を築く一員になっている。

基本事業 子どもの居場所づくりや体験活動の推進

根拠法令・要綱等	作成日	平成25年 7月 6日
	事業開始	昭和60年度
	事業終了	

必要度合 民間のサービスを補完・先導する

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

市少年の船助成事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

子どもたちに体験不足と指摘があるように、事業を通し自然体験、自らの手による野外炊飯などの活動を行い、生き抜く力を養う。また高校生などの若年層がボランティアの指導者として参加するなどボランティアスタッフの育成もはかる。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	小学4~6年生・中学生ボランティア指導者		

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

教育委員会・青少年育成市民会議・ボランティア指導者で実行委員会を結成。市広報・市HP・学校を通じて参加者募集
友愛トレーニングキャンプ、友愛サマーキャンプ、友愛ウィンターキャンプ
内容：野外炊飯・テントによる宿泊体験及び行動訓練・レクリエーション・工作・山遊び・川遊び等の体験活動

成果指標名①	単位
年間延参加者数	人
計算式	3回の事業参加者の合計
成果指標名②	単位
ボランティア指導者参加人数	人
計算式	3回の事業参加者の合計
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
広報等募集回数	回
活動指標名②	単位
事前研修回数	回
活動指標名③	単位
スタッフ事前会議回数	回
活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
年度別計画	計画	・友愛トレーニングキャンプ ・友愛サマーキャンプ ・友愛ウィンターキャンプ ・指導者講習会	・友愛トレーニングキャンプ ・友愛サマーキャンプ ・友愛ウィンターキャンプ ・指導者講習会	・友愛トレーニングキャンプ ・友愛サマーキャンプ ・友愛ウィンターキャンプ ・指導者講習会	・友愛トレーニングキャンプ ・友愛サマーキャンプ ・友愛ウィンターキャンプ ・指導者講習会	・友愛トレーニングキャンプ ・友愛サマーキャンプ ・友愛ウィンターキャンプ ・指導者講習会	・友愛トレーニングキャンプ ・友愛サマーキャンプ ・友愛ウィンターキャンプ ・指導者講習会	・友愛トレーニングキャンプ ・友愛サマーキャンプ ・友愛ウィンターキャンプ ・指導者講習会
	実績	・友愛トレーニングキャンプ ・友愛サマーキャンプ ・友愛ウィンターキャンプ ・救命講習会	・友愛トレーニングキャンプ ・友愛サマーキャンプ ・友愛ウィンターキャンプ ・救命講習会					
ア	予算額・決算額	千円	724	709	736	736	736	0
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		724	709	736	736	736	0
イ	従事者数(正規)	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	2,386	2,371	2,398	2,398	2,398	0
ク	成果指標①	人	119.00	123.00	120.00	120.00	120.00	0.00
	②	人	34.00	25.00	45.00	45.00	45.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	回	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00	0.00
	②	回	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00	0.00
	③	回	0.00	0.00	4.00	4.00	4.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	245.3	245.3	245.3	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 619 事務事業名 青少年育成友愛事業

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	野外活動や、体験活動など学校教育でできないところを社会教育で補う必要があり、様々な体験をすることにより青少年の健全育成に大変効果がある。また、他の学校、他の学年の友達もできるので、社会性も養うことができる。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地あり		
	年3回のキャンプごとに、かかる経費を見積もって参加費を変更はしているが、公平性を保つために更なる検討が必要。		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	中
	野外活動や体験活動などを通して、青少年の健全育成をはかっている。今後は、新規の参加者を増やし、さらに継続して参加してもらえるようにしていく必要がある		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	ボランティアの協力が比較的得られている事業であり、職員の負担が少なく効率的に行えている。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 高木正勝	イ 前回評価後の改善内容					
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更						
<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善						
<input type="checkbox"/> 成果減少							
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>	ウ 今後の具体的な対応策、実施案						

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 633 事務事業名 市少年の船助成事業

部 教育委員会

担当部署 社会教育課社会教育係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 2 青少年の健全育成

上位施策のねらい
青少年が健全に育成され、豊かな社会を築く一員になっている。

基本事業 子どもの居場所づくりや体験活動の推進

根拠法令・要綱等	作成日	平成25年 8月14日
	事業開始	
	事業終了	

必要度合 民間のサービスを補完・先導する

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

青少年育成友愛事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

研修旅行を通じて団体生活のあり方を教えると共に、互いの友情と連帯を深めながら、健全で自主性のある明るい少年・少女を育てることを目的とする。
また、研修生として参加した子が、高校生や大人になり今度はスタッフとして事業に関わり指導にあたっている。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	筑後市の小学4年生～中学生		少年の船ボランティアスタッフ

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

事業は「少年の船」に委託し、委託金150万円以内（実施内容）
・ 1泊2日の宿泊研修
・ 3回の事前研修
・ 3泊4日の本研修
海外又は沖縄や鹿児島などの離島

成果指標名①	単位
参加者数	人
計算式	

成果指標名②	単位
計算式	

成果指標名③	単位
計算式	

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位
広報回数	回

活動指標名②	単位

活動指標名③	単位

活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
年度別計画	計画	種子島（南種子町）	気仙沼大島（宮城県気仙沼市）	屋久島	未定	未定	未定	
	実績	種子島（南種子町）	気仙沼大島（宮城県気仙沼市）、南三陸町					
ア	予算額・決算額	千円	1,255	1,580	1,660	1,660	1,660	1,660
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		1,255	1,580	1,660	1,660	1,660	1,660
イ	従事者数(正規)	人	0.03	0.03	0.03	0.03	0.00	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	1,454	1,779	1,859	1,859	1,660	1,660
ク	成果指標①	人	32.00	26.00	40.00	40.00	40.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	回	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	1,660.0	1,660.0	1,660.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 633 事務事業名 市少年の船助成事業

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	研修地は海外と国内の交互となっていたが、海外研修地の場合、スタッフが集まらないので交互という決まりを撤廃した。
--------------------------------------	---

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	野外活動や、体験活動など学校教育でできないことを少年の船で補えるので必要である。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地あり		
	負担金は取っているが、交通費、食料費や参加人数等を勘案し、適正な参加負担金になっているか検証が必要である。		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	中
	野外活動や体験活動などを通して、青少年の健全育成をはかっている。今後は、新規の参加者、スタッフを増やしていく必要がある。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	コスト削減余地	無
	行き先によって参加者数にばらつきがあるので、費用対効果を検討する必要がある。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 高木正勝	イ 前回評価後の改善内容							
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">改善案の進捗実施状況</td> <td></td> </tr> </table> ウ 今後の具体的な対応策、実施案 <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>	改善案の進捗実施状況	
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更								
<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善								
<input type="checkbox"/> 成果減少									
改善案の進捗実施状況									
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>									

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 637 事務事業名 学校開放「エンジョイ広場」事業

部 教育委員会

担当部署 社会教育課社会教育係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 2 青少年の健全育成

上位施策のねらい
青少年が健全に育成され、豊かな社会を築く一員になっている。

基本事業 子どもの居場所づくりや体験活動の推進

根拠法令・要綱等		作成日	平成25年 8月14日
		事業開始	平成14年度
		事業終了	

必要度合 民間のサービスを補完・先導する

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

アンビシャス広場（県）

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

地域最大の教育資源（施設）であり、なおかつ安全な場所である小学校に子どもたちが自由に集まり、地域の大人からいろいろいな事を学ぶ。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	子ども		校区コミュニティ協議会青少年育成校区民会議

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

・小学校施設を土曜日を中心に月2回以上（年20回以上）、1日2時間以上開放し、青少年育成校区民会議等が主体となってボランティアを募り、校区内の子どもたちに様々な遊びや体験の機会を企画・管理・運営している。（パソコン教室、スポーツ教室、本の読み聞かせ等）
 ・補助金は1小学校区あたり年間36万円以内。

成果指標名①	単位
総利用者数	人
計算式	実施校区の利用者数の年度合計

成果指標名②	単位
ボランティア延参加数	人
計算式	実施校区のボランティア参加者の年度合計

成果指標名③	単位
学校開放回数	回
計算式	実施学校開放回数の年度合計

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位
補助金申請件数	件
活動指標名②	単位

活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	7校実施				8校実施	8校実施	9校実施	10校実施
	4校実施		5校実施					
年度別計画	実績							
ア予算額・決算額	千円	1,440	1,800	2,350	2,890	2,890	3,240	3,600
国・県支出金		0	0	0	0	0	0	0
その他財源		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,440	1,800	2,350	2,890	2,890	3,240	3,600
イ従事者数(正規)	人	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.00
ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	1,639	1,999	2,549	3,089	3,089	3,439	3,600
ク成果指標①	人	2,162.00	2,768.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,500.00
②	人	549.00	397.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	2,000.00
③	回	159.00	100.00	160.00	160.00	160.00	160.00	200.00
④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ活動指標①	件	4.00	0.00	8.00	8.00	8.00	8.00	0.00
②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ活動1件当たりコスト	千円	360.0	0.0	293.7	361.2	361.2	405.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 637 事務事業名 学校開放「エンジョイ広場」事業

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、子どもが被害者、加害者となる事件が頻繁に起こっている。それに対し各地域でいろんな方策が模索されており、そのなかで地域で子どもを育てようという意識が徐々に広まっている。 ・団塊の世代が退職し、地域に人材が集まることが予想される。その人たちに地域のボランティアの一端を担ってもらうことが必要である。
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う子どもの育成事業及び地域住民が関与した事業であり、必要性は大である。 ・地域の高齢者の技能等の活用が出来、生涯学習にもつながる。 ・小規模校については、対象児童も少なく、事業実施に無理があり全校実施は目指していない。 		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意志があれば参加できるが、実施していない学校もあり、公平性に欠ける。 ・小規模校についても生涯学習の観点から実施の働きかけは必要である。 ・地域での子どもの育成事業であり、受益者負担は考えていない。 		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	大
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主導で実施する事業であり有効である。 ・実施校が少なくなり、成果指標が減っているが、実施校においては、それぞれ創意工夫して事業を行っている。 		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	地域が主体となってボランティアを募り、企画・管理・運営している。市はそれをサポートする形となっており効率的である。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 高木正勝	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-left: 20px;"> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 </div> <div> <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 手段改善 </div> </div>		改善案の進捗実施状況 ウ 今後の具体的な対応策、実施案 実施校区を拡大していくため、予算を増額するもの
次年度の投入資源 事業費 <u>拡大</u>		

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 639 事務事業名 子ども情報紙発行事務

部 教育委員会

担当部署 社会教育課社会教育係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 2 青少年の健全育成

上位施策のねらい
青少年が健全に育成され、豊かな社会を築く一員になっている。

基本事業 子どもの居場所づくりや体験活動の推進

根拠法令・要綱等	作成日	平成25年 7月 8日
	事業開始	平成12年度
	事業終了	

必要度合 民間のサービスを補完・先導する

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

- ・子どもたちが、情報紙を読むことによって自然体験やボランティアなどのさまざまな活動に参加しやすくする。
- ・子育て中の親が情報紙を読むことによって興味のある子育て関連事業に参加できる。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	幼稚園・保育園・小学生・子育て中の親		情報提供団体

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

- 情報紙「うおんとっ！」の作成（年4回、各5500部発行）
- ・筑後市と近隣市町村の団体や施設より情報を収集
 - ・子どもたちのイラストの募集及び掲載
 - ・スポーツや料理、体験施設、子どもたちの活動の様子など、子どもたちの興味・関心を引くような記事の掲載
 - ・行政が行っている子育て関連事業を掲載

成果指標名①	単位
認知度（要調査）	%
計算式 実績値を記入する年度の5月にアンケートを実施するので、その数値を使用する。	
成果指標名②	単位
役に立ったり面白かった情報や記事があった人	人
計算式 実績値を記入する年度の5月にアンケートを実施するので、その数値を使用する。	
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
年間発行回数	回
活動指標名②	単位
各発行部数	部
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	子ども情報紙の発行							
	子ども情報紙の発行							
年度別計画	計画							
	実績							
ア	予算額・決算額	千円						
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	その他財源	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	117	108	252	252	252	252	252
イ	従事者数(正規)	人	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.15	0.15	0.15	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	250	241	385	252	252	252
ク	成果指標①	%	50.50	53.00	60.00	60.00	60.00	0.00
	②	人	18.00	21.00	25.00	25.00	25.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	回	4.00	0.00	4.00	4.00	4.00	0.00
	②	部	5,560.00	0.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	29.2	0.0	63.0	63.0	63.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 639 事務事業名 子ども情報紙発行事務

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	中
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに自然体験やボランティアなどのさまざまな情報をわかりやすく提供する。 ・子育て中の親に興味のある子育て関連情報を提供する。 		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	小学生、保育所、幼稚園通園通学者全員と関係機関団体に配布している。		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	中
	さらに興味を持って読んでもらえるような工夫で認知度を上げて、有効に行事等の周知を図りたい。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	見やすく魅力的な情報紙とするため、カラー刷としたが、コスト効果を最優先としている。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 高木正勝	イ 前回評価後の改善内容					
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況 ウ 今後の具体的な対応策、実施案
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更						
<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善						
<input type="checkbox"/> 成果減少							
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>							

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 646 事務事業名 子ども会連絡協議会事業

部 教育委員会

担当部署 社会教育課社会教育係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 2 青少年の健全育成

上位施策のねらい
青少年が健全に育成され、豊かな社会を築く一員になっている。

基本事業 子どもの居場所づくりや体験活動の推進

根拠法令・要綱等		作成日	平成25年 7月 6日
		事業開始	昭和44年度
		事業終了	

必要度合 民間のサービスを補完・先導する

1. 事務事業の目的、指標等 類似事務事業

--

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

地域の子ども会が、子どもたちの手による子ども会として活発に活動していく。
学校外の活動として、異学年との交流を図る。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	子ども会・保護者		

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

単位子ども会 87団体で構成。理事会・総会を開催し年間事業計画を決定。
各種スポーツ大会・文化活動の推進
①ソフト・ドッジボール大会
②陸上・綱引き大会
③子ども広場
④カルタ大会

成果指標名①	単位
子ども会に加入しているこどもの延べ参加率	率
計算式	延べ参加者（子ども）数／子ども会加入者数
成果指標名②	単位
安全会加入者数	人
計算式	安全会加入者数（大人＋子ども）
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
会議開催回数	回
活動指標名②	単位
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画	
	計画	各種事業	各種事業	各種事業	各種事業	各種事業	各種事業	各種事業	
	年度別計画	ソフト・ドッジボール大会(42名) 陸上・綱引き大会(916名) 子どもの広場(40名) カルタ大会(88名) 延べ1,879名	ドッジボール大会(49名) 陸上・綱引き大会(909名) 子どもの広場(47名) カルタ大会(94名) 延べ1,919名						
実績									
ア	予算額・決算額	千円	679	648	685	685	685	685	0
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		679	648	685	685	685	685	0
	イ従事者数(正規)	人	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.00
	ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
	エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	オ年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
	カ従事者数(臨時等)	人	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.00
	キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	878	847	884	884	884	884	0
	ク成果指標①	率	0.00	73.90	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
	②	人	0.00	4,101.00	4,300.00	4,300.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ケ活動指標①	回	0.00	0.00	7.00	7.00	0.00	0.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	コ活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	97.8	97.8	0.0	0.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 646 事務事業名 子ども会連絡協議会事業

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地あり	上位施策貢献度	中
	自主運営の検討が必要である。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	市内子ども会を通して周知しているため。		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	中
	子ども会加入者一人につき一事業参加を目標としているため、成果向上の余地あり。人間関係が希薄になっているなか、子どもや保護者の交流の場として活用され、さらにこどもの安全や教育などについて保護者同士が協力するような雰囲気や工夫、仕掛けが必要である。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	各種行事については、理事・役員が積極的に協力して進められている。H21年度よりドッジボール大会を県営筑後広域公園体育館で開催するようになり、雨天時も開催できている。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 高木正勝	イ 前回評価後の改善内容							
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">改善案の進捗実施状況</td> <td></td> </tr> </table> ウ 今後の具体的な対応策、実施案 <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>	改善案の進捗実施状況	
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更								
<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善								
<input type="checkbox"/> 成果減少									
改善案の進捗実施状況									
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>									

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 647 事務事業名 成人式事業

部 教育委員会

担当部署 社会教育課社会教育係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 5 創造性と豊かな心を育むまちづくり

施策 2 青少年の健全育成

上位施策のねらい
青少年が健全に育成され、豊かな社会を築く一員になっている。

基本事業 施策の総合推進

根拠法令・要綱等	国民の祝日の関する法律	作成日	平成25年 7月 8日
		事業開始	昭和23年度
		事業終了	

必要度合 **市民の社会生活上、必要最小限の保障**

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

新成人に大人としての自覚と責任をもってもらう。また、従来の型の成人式から脱却し、実行委員を組織することで成人者の自主性と地域との繋がり・ボランティアの心を育み、多くの人から祝福されるような成人式を実施する。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	新成人者		

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

新成人を募り成人式実行委員会を開催する。9月から約10回の会議を開催し、行政と共催で企画・運営を検討する。

成果指標名①	単位
実行委員数	人
計算式	

成果指標名②	単位
参加率	%
計算式	参加人数/市内在住で住民票のある人数

成果指標名③	単位
計算式	

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位
実行委員会会議回数	回

活動指標名②	単位
--------	----

活動指標名③	単位
--------	----

活動指標名④	単位
--------	----

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	成人式							
	成人式							
年度別計画	実績							
	成人式							
ア	予算額・決算額	千円	857	883	908	908	908	908
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		857	883	908	908	908	908
イ	従事者数(正規)	人	0.17	0.17	0.17	0.17	0.00	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	1,987	2,013	2,038	2,038	908	908
ク	成果指標①	人	11.00	10.00	20.00	20.00	20.00	0.00
	②	%	89.40	0.00	90.00	90.00	90.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	回	0.00	0.00	10.00	10.00	0.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	90.8	90.8	0.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 647 事務事業名 成人式事業

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	中
	「国民の祝日に関する法律」において、社会の一員となり、自覚と責任を意識づけさせる必要がある。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	市内在住の新成人対象に案内状を送っているの、公平である。しかし、大学・就職等で市外へ転出した方は、電話で申し込みがあった場合に案内状を送っている。		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	中
	実行委員形式で行うことで、新成人にあった企画ができ新成人が式に参加しやすくなる。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	以前は実行委員会は職員2人で対応していたが、実行委員に任せることにより1人で対応できるようになった。		

5. 総合評価

ア 総合評価

課長 高木正勝

イ 前回評価後の改善内容

事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">改善案の進捗実施状況</td> <td>実行委員会募集時期を早めたことで、時間的な余裕ができ実行委員を集めることができる。</td> </tr> </table> <p>ウ 今後の具体的な対応策、実施案</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>	改善案の進捗実施状況	実行委員会募集時期を早めたことで、時間的な余裕ができ実行委員を集めることができる。
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更								
<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善								
<input type="checkbox"/> 成果減少									
改善案の進捗実施状況	実行委員会募集時期を早めたことで、時間的な余裕ができ実行委員を集めることができる。								
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>									